

奥田2地区
がけ崩れ対策事業

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

施策3：防災インフラの整備（中長期レジリエンス戦略）

事業概要

- 所在地：東吾妻町大字奥田
- 地区名：奥田2地区
- 事業内容：崩壊土砂防護柵工、法枠工
- 全体事業費：約1億円
- 事業期間：平成30年度～令和3年度（4年間）
- 保全対象：避難所 1箇所
 人家3戸（うち特別警戒区域内1戸）

崩壊土砂防護柵とは、
斜面から崩れ落ちる土砂を、鋼杭とフェンスで受け止め、
被害を防止するものです。

どのような目的を達成するための事業か

事業位置



・土砂災害リスクを軽減するため

**防護柵・法枠
をつくりました**



・避難所のすぐ裏なので、早く対策してほしい。（近隣住民）

成果を示す項目	実施前	実施後
保全される避難所	0箇所	1箇所
保全される人家	0戸	3戸

実施前

- ◆斜面が急であるため、大雨等でがけ崩れが発生するおそれがあります。



事業前の状況

保全対象(避難所)

東吾妻町東支所

実施後

- ◆防護柵をつくることにより、落石や崩落した土砂を受け止め、がけ崩れによる被害のリスクを軽減しました。



完成写真

事業の進捗状況（R3年度完了）



今、何をしているか

令和3年度は、法枠工を実施しました。
令和3年度末で事業完了となりました。



現在の状況

事業のすすみ具合

事業開始 ● ● 事業完了